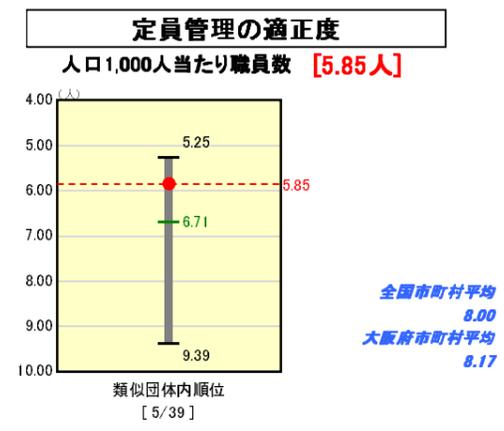
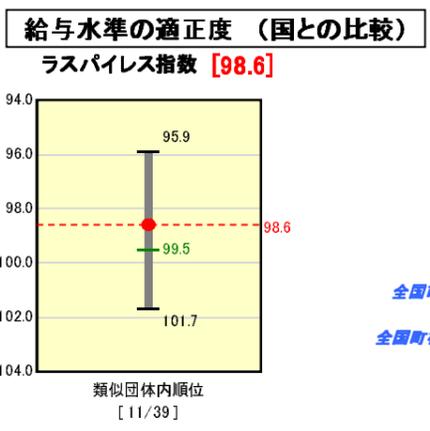
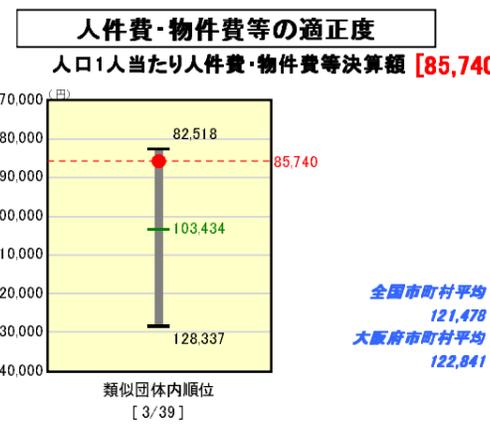
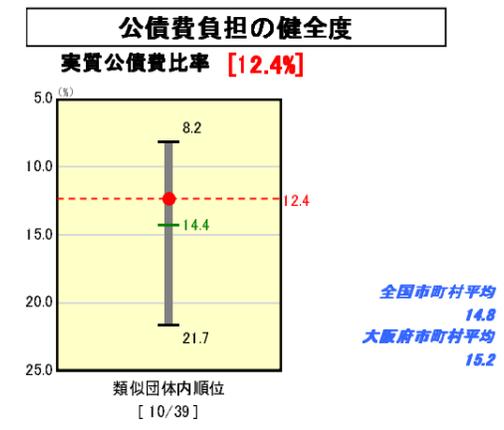
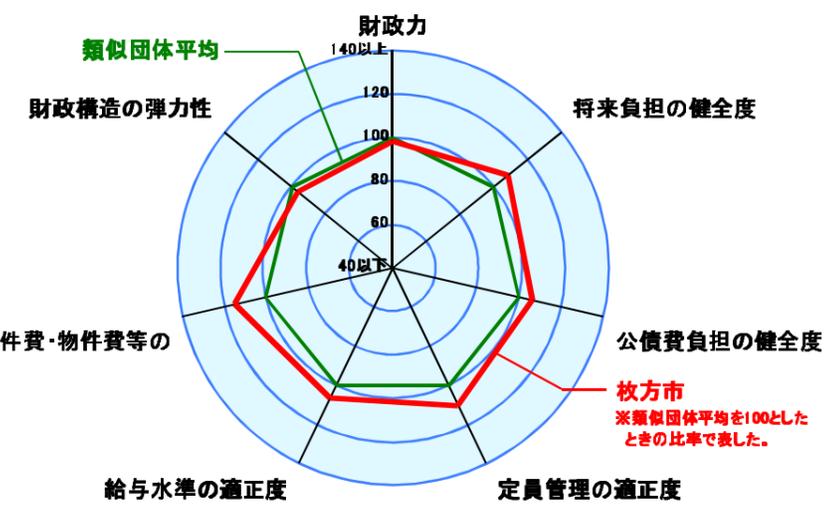
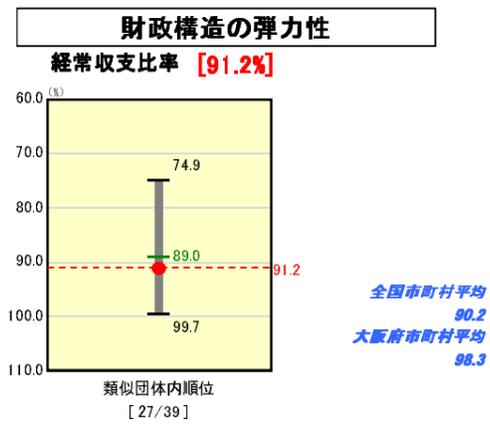
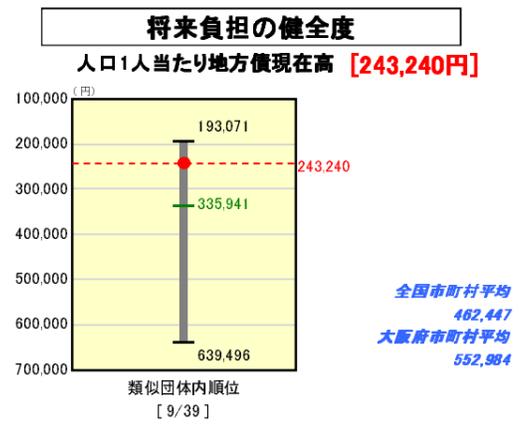
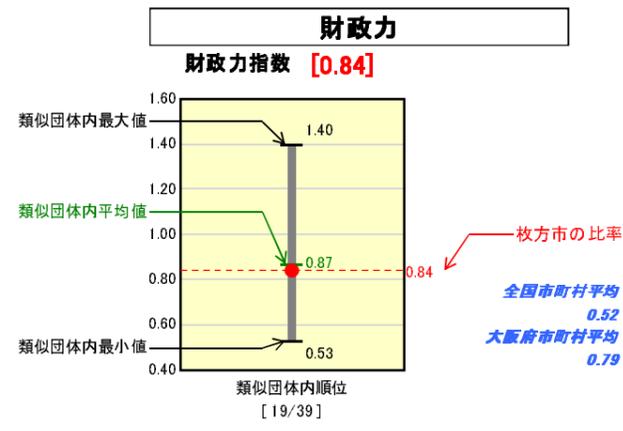


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

大阪府 枚方市

人口	403,799人	(H18.3.31現在)
面積	65.08	km ²
歳入総額	102,319,542	千円
歳出総額	101,804,790	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 1. 財政力指数**
平成17年度決算では、類似団体平均を下回ることとなった。これは、景気回復の影響で個人市民税が増加傾向にあるものの、地価の下落等の影響により固定資産税が大きく減少したため、本市では指数が横ばいとなったが、類似団体では、本市に比べ市税収入の増加がより大きかったためと考えられる。今後、少子高齢化の進展により税財源環境は一層厳しさを増すことから、市政の構造改革をすすめて、財政基盤の安定化を図っていく。
- 2. 経常収支比率**
類似団体平均を依然上回っているが、対前年度では0.9ポイント改善した。これは、給料の削減等により人件費で0.8ポイント減、償還金の一部終了に伴い、公債費で0.3ポイント減となったためである。類似団体平均が対前年度で0.7ポイントの改善であったため、経常収支比率の類似団体平均との差は徐々に縮まる傾向にある。今後は、市税収入の大幅な回復が望めないこと、扶助費の伸びが継続する見込みであることなどから、経常収支比率の改善は非常に困難な状態であるが、構造改革アクションプランに掲げられた目標の達成などを通じて、財政の構造改革に努めていく。
- 3. 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
類似団体平均を下回っているが、これは消防業務を一部事務組合で行っているためである。今後はこの経費を含めて抑制に努めていく。

- 4. ラスパイルズ指数**
対前年度比では0.1ポイントの減であったが、類似団体平均が0.5ポイント増となったため、前年度に続き類似団体平均を下回った。今後も引き続き給与の適正化に努めていく。
- 5. 人口1人当たり地方債現在高**
平成11年度以降の投資的事業の抑制や昭和50年代に建設した義務教育施設に係る既発債の償還完了により、類似団体平均を下回っている。今後は、火葬場建設や第2清掃工場建設等の大規模プロジェクト事業の実施に伴い、市債の新規発行が増加する見込みであるが、投資的事業全体の適正化を図り、引き続き類似団体平均を上回ることのないよう努めていく。
- 6. 実質公債費比率**
投資的事業の抑制等により平成10年度をピークに地方債現在高は減少傾向にあり、公債費も繰上償還をした平成13年度をピークに減少している。このことにより、類似団体平均を下回っている。今後は、大規模事業の実施に伴い、市債の発行が一時的に増加するが、現状より悪化させることのないよう努めていく。
- 7. 人口1,000人当たり職員数**
平成8年度から平成14年度までの間に職員数258人削減の目標を達成した。今後は構造改革アクションプランに掲げる目標である、平成25年4月1日まで700人の削減を達成するために適正な定員管理に努めていく。